

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	高知中央西部焼却処理事務組合負担金		部課コード	1816	予算事業科目	010403010631	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	明神公平		個別事務	全部	010403010631	-	1	
	担当部署	春野環境センター	所属長名(1次評価者)	橋威					-		
	電話番号	088-894-2314	E-mail	kc-181600@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	市民・事業者・行政が一体となって、協働・参加による環境保全活動に取り組み、地球環境に貢献する循環型社会システムの確立をめざします。						
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する循環型社会の構築								
項	03 清掃費	施策	04 廃棄物の適正処理								
目	01 塵芥処理費	区分	04 収集処理体制の充実								

2 事業の根拠

法律・政令・省令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法定受託事務	<input checked="" type="radio"/>
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等	一部事務組規則		
その他(計画、覚書等)			

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	構成団体(土佐市・高知市(旧春野町)いの町(旧伊野町・旧吾北村)・日高村)住民				
意図	どのような状態にしていくのか	構成団体で発生する一般廃棄物(可燃ごみ)の安定処理を図る。				
手段	事業実施体制等	構成団体で一般廃棄物(可燃ごみ)の共同処理を行う。	事業開始年度	平成19年度		
			事業終了年度	平成24年度		
活動内容	どのような事業活動を行うのか	一般廃棄物(可燃ごみ)の焼却処理。組合の運営。施設の維持管理。				
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方			
	A					
	B					
	C					

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄
成果指標	A	目標					
		実績					
	B	目標					
		実績					
	C	目標					
		実績					
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)		74,924	78,343	89,685	
		財源内訳	国費(千円)				
			県費(千円)				
			市債(千円)				
			その他(千円)				
			一般財源(千円)	0	74,924	78,343	89,685
	翌年度への繰越額(千円)						
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	75	75	75	
		正規職員(千円)	0	75	75	75	
		その他(千円)					
		人役数(人)		0.01	0.01	0.01	
		正規職員(人)		0.01	0.01	0.01	
		その他(人)					
総コスト=①+②(千円)		0	74,999	78,418	89,760		
市民1人当たりコスト(円)		0	220	231	総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		341,544	340,695	339,714			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○構成団体から排出される一般廃棄物（可燃ごみ）は、適正に焼却処理されている。また、焼却施設は安定して運転されている。○余熱利用施設は、健康増進を目的に住民に利用されているものの赤字経営が続いており今後の課題である。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 9 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業は平成20年1月に春野町と高知市の合併に於いて、ごみの処理については一市二制度で行うこととなり、平成24年度末に組合を脱退するまで実施されるもので、春野地域には必要な事業である。また、併設された余熱利用の健康増進施設「いやしー土佐」も地元の要望により設置されたものである。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	春野町から搬出される可燃ごみは滞りなく、適切に焼却処理されており、問題はない。併設の健康増進施設は利用者が少なく改善が望まれる。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	高知中央西部焼却処理事務組合は4市町村の構成で運営しており、高知市だけの判断は出来ない。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	3.0	地元との取決めで、焼却場へ土佐市以外の市町村からの持込みごみが週1日と制限されている。事務組合設立時に地元の交通対策から決定したのでやむを得ない面もある。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合 点	16.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項